

# コロナ禍でのボランティア活動

自分と周りの方の安全を守り、  
ボランティア活動を止めないためにご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症により、従来どおりのボランティア活動が制限される中、神戸市各区ボランティアセンターでは、できる限り安心してボランティア活動に参加していただけるよう、活動にあたり大切にしてほしい習慣や考え方、具体的な対策をまとめました。ボランティアセンターはみなさんと一緒に新しい活動のカタチを考えていきます。

## 1 日頃からしておくこと

### 体調管理票を活用して、 毎日の体調記録をつける

毎日の習慣にしましょう。ボランティア活動を行う前後2週間が特に大切です。



### ボランティア活動について 同居する家族・親族の理解を得る

安全に活動できる環境であることなどをこまめに伝えておきましょう。

## 2 ボランティア活動前

### 活動日までに少しでも体調が優れないときは 必ず活動先・ボランティアセンターへ連絡して活動を休む

※活動先へ直接連絡するのがためられるときは、ボランティアセンターへご連絡ください。



## 3 ボランティア活動中

### 人との距離をとり、 3密(密閉、密集、密接)を避ける



### 飲食を伴う活動を避ける

食事をしながらの会話は飛沫感染リスクが高まります。ただし、水分補給はこまめに行いましょう。



### マスクを必ず着用する

フェイスガード、マウスガードのみでは効果が低いとされています。



### こまめに手指を消毒する

複数の人で共用する部分や備品を触ったときは意識して消毒しましょう。



## 4 ボランティア活動後

### 手洗い、うがい、顔洗い

可能なら、帰宅後には着替えてシャワーを浴びると効果的です。



### 活動の記録をつける (いつ、どこで、誰と会ったか)

感染判明時、濃厚接触者の特定などに必要となります。



### 体調に不安を感じた場合は、その後の活動を休み病院で受診する

感染判明時は活動先・ボランティアセンターへ必ず一報をお願いします。

※活動先へ直接連絡するのがためられるときは、ボランティアセンターへご連絡ください。



さらに詳しく  
ホームページで説明しています！

神戸市各区ボランティアセンター